

1.系譜・歴代(44件62点)

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出 (作成)	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
1	83	文政二年流刑の十村のうち内嶋村小豊次など五人に十村列申渡書(写)并に和絃由緒帳覚書	(文政4年)	(1821)	①(原本:千羽彦大夫) ②五十嵐和絃(政雄)	①(原本:犬丸村与左衛門等5人)	卷子	16.7×253.2。全体16.7×282.8 軸長18.5。 ①15.6×126.2、 ②16.7×127.0	2		①文政二年流刑の十村のうち内嶋村小豊次など五人に十村列申渡書(写) 端書:異筆「文政4(1821)年3月口達ノ趣き篤好真書より」 ②和絃由緒帳覚書 題簽:「流刑を□□奉行所にて申渡の書付篤好の写し置たるもの等」 見返し:覚書写の経緯(和絃筆) ・和絃は五十嵐家11代政雄(1850~1934)。篤好3男。石川・富山県議。
2	55	頂戴物政雄方へ送付、おたつ伝言願い及び手拭、はおり等品々受取礼状	(江戸後期)正月12日		いがらし小豊次	おちう	継紙	15.4×90.2	1		・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。おたつはちう嬢。
3	56	近況報告およびむつ半入れ縫い尋ね状	(江戸後期)2月15日		小豊次	いがらしおちう	継紙	15.2×94.6	1		・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。むつはちう嬢。
4	60	くみかえ大評判、長崎氏療治助言につき書状	(江戸後期)6月12日		小豊次	いがらしおちう	継紙	15.6×87.2	1		・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。
5	57	病気近況報告状	(江戸後期)6月16日		三杖(御杖)	篤好	継紙	17.8×48.0	1		挿絵あり。 ・富士谷御杖は明和5(1768)年~文政6(1823)年の国学者。
6	38	病状近況報告等につき書状	(江戸後期)7月8日		小豊次	ちう	継紙	15.8×113.6	1		・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
7	68	五十嵐篤好等 宛富士谷御杖 書状	江戸後期		富士谷御杖	五十嵐篤好 等	卷子	【68-1】16.5 ×314.6。全 体18.8× 349.1軸長 21.0、① 15.2× 35.2、② 16.3× 100.8、③ 15.3× 33.8、④ 15.2× 17.0、⑤ 17.2× 51.8、⑥ 15.5×76.0 【68-2】16.0 ×270.4。全 体16.9× 308.4軸長 19.5、① 16.0× 69.8、② 15.3× 33.4、③ 15.2× 79.0、④ 15.0× 88.2、 【68-3】16.0 ×187.2。全 体17.8× 224.2軸長 20.0、① 16.2× 130.5、② 15.6× 73.3、③ 15.2× 12.0、④ 15.2× 68.6、⑤ 15.2× 29.5、⑥ 15.2×40.8	3 卷 (計 16 点)	—	【68-1】①8/20富士谷御杖→木 村・沢田、②3/20富士谷御杖→ 五十嵐餘左衛門、③8/8富士谷 御杖→五十嵐餘左衛門、④2/24 御杖→餘左衛門、⑤年代・宛名 欠、⑥6月24富士谷御杖→五十 嵐餘左衛門 小計6点 【68-2】①11/11御杖→篤好、② 9/28御杖→篤好、③5/10御杖→ 篤好、④御杖→篤好 小計4点 【68-3】①2/□小辺→五十嵐之 義、②9/3御杖→篤よし、③9/28 御杖→篤好、④□/□富士谷千 左衛門成元→五十嵐孫作、⑤ 11/19御杖→篤好、⑥年代・宛名 欠「二條後の春の初のうた」小 計6点 木箱:22.7×18.2×5.8(蓋表貼紙 墨書「富士谷御杖大人書状三 卷」、蓋裏墨書「篤好の書道の先 生、富士谷御杖大人書状三卷 五十嵐蔵 朱分方印「□□□ □」)。 ・富士谷御杖は明和5(1768)年～ 文政6(1823)年の国学者。
8	87	辞令等綴	江戸後期～明治 初期			五十嵐小豊 次、豊、豊生	一紙 綴	22.0×51.0 等	1	18	小豊次6枚、豊2枚、豊生8枚、他 2枚。 破れ、虫損あり。
9	15	皇太子殿下本 県へ行啓の際 台覧を請はん ため貴下提供 の陳列を2日に 台覧されたこと への感謝状	明治42年10月5 日	1909	富山県知事 宇佐美勝夫	五十嵐政雄	一紙 (奉 紙)	21.3×57.7	1		・明治42年9月29日皇太子(のち の大正天皇)富山県行啓。 ・宇佐美勝夫(1869～1942)は 1908年富山県知事に就任。後、 東京府知事、貴族院議員などを 歴任。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
10	127	五十嵐家アルバム	明治～昭和				アルバム	18.5×26.2×2.6	1	25	五十嵐政雄、ちう、豊次、啓次、貞次、定次、敏男、今子、久義、ふみ、久孝、あや、つる、雄三、みね、権平、久嗣、きよ子
11	44	伊藤公まくりの品冗取取計らい願状	(近代カ)1月25日		寧一	五十嵐政雄	切紙	24.0×33.2	1	2枚	・寧一は11代五十嵐政雄おい。
12	41	近況報告及び礼状	(近代カ)2月4日		吉田かた	五十嵐御母うへ(五十嵐ちう)	罫紙 継紙	13.6×54.4	1		添紙1枚:13.6×14.3(ちょうはい上り時期問合せ状) 前欠。 ・吉田かたは10代五十嵐佐次右衛門娘。吉田仁平婦人。 ・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。
13	47	書送付礼状	(近代カ)2月14日		□□	五十嵐先生	継紙	18.5×91.3	1		
14	58	御一報願状	(近代カ)3月24日		砺波郡津沢町沼田平次	五十嵐政雄	継紙	15.0×24.8	1		
15	22	手不足の事故があり随万妨害を受け不遇に耐えかね研究、調査等希望の就職斡旋願状	(近代カ)5月18日		豊次	父上(五十嵐政雄)	継紙	18.1×162.0	1		文末別紙添付2枚:①23.0×2.5「手に給ふ水にやどれる月影の～」、②23.8×4.6「七言絶句」 破れあり。 ・豊次は11代五十嵐政雄息子。
16	42	御調べの紙面お届け及び近況報告	(近代カ)7月17日		五十嵐豊生	五十嵐政雄	切紙	15.5×35.2	1		・五十嵐豊生は10代五十嵐佐次右衛門。篤好長男。
17	35	恵下礼状及び高嶋おじ死去につきやへへ伝言願状	(近代カ)7月21日		よし田かた	いからし御は(五十嵐ちう)	継紙	15.4×66.5	1		破れあり。 ・吉田かたは10代五十嵐佐次右衛門娘。吉田仁平婦人。 ・やへは高島簾太郎夫人。 ・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。
18	34	親不孝詫状	(近代カ)8月12日		よし田かた	いからし御か(五十嵐ちう)	切紙	15.2×30.4	1		破れあり。 ・吉田かたは10代五十嵐佐次右衛門娘。吉田仁平婦人。 ・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
19	33	近況報告并に御品恵下礼状	(近代カ)8月21日		服部加多	五十嵐御あね	継紙	15.7×50.5	1		・服部かたは10代五十嵐佐次右衛門娘。服部嘉十郎婦人。
20	32	はやり病見舞状	(近代カ)8月28日		服部かた	いからし御あね	継紙	15.7×64.0	1		前半部下部欠。 ・服部かたは10代五十嵐佐次右衛門娘。服部嘉十郎婦人。
21	29	チョウハイ(里帰り)礼状	(近代カ)9月19日		服部かた	いからし御かゝ(五十嵐ちう)	継紙	15.7×55.7	1		文末句「秋風の吹につけてもむかしへとしのふたもとにやとる月影」 破れあり。 ・服部かたは10代五十嵐佐次右衛門娘。服部嘉十郎婦人。 ・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。
22	40	後妻の件深謝状	(近代カ)9月28日		光恒	五十嵐	継紙	16.8×60.5	1		端書:異筆「中村光徳氏」
23	21	帝国風教研究に余食なき若者に返答を請う書簡	(近代カ)10月6日 夜2時		成文堂北宮 下秋水	五十嵐	継紙	17.8×134.2	1		
24	37	恵贈礼状并に訪問延期願状	(近代カ)11月28日		はとりかた	いからし御かゝ(五十嵐ちう)	継紙	16.3×69.0	1		虫損あり。 ・服部かたは10代五十嵐佐次右衛門娘。服部嘉十郎婦人。 ・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。
25	31	御礼并に寒中見舞い状	(近代カ)12月12日		よし田かた	いからし御はゝ上(五十嵐ちう)	継紙	15.0×84.2	1		虫損あり。 ・吉田かたは10代五十嵐佐次右衛門娘。吉田仁平婦人。 ・ちうは10代五十嵐佐次右衛門夫人。
26	48	拝借本礼状	(近代カ)12月16日		中野幸作	五十嵐正(ママ)雄	切紙	17.0×47.4	1		端書:異筆「中野幸作氏」
27	52	塩田耕吉氏の近況報告并訪問伺状	(近代カ)12月21日		早苗西蔵	五十嵐	継紙	18.2×100.3	1		・早苗西蔵は11代高岡市長(在任期間昭和5年8月11日～昭和9年8月10日)。
28	49	塩田家の囁望通報并訪問伺状	(近代カ)12月23日		早苗	五十嵐大人	継紙	17.7×85.2	1		・早苗西蔵カ。早苗西蔵は11代高岡市長(在任期間昭和5年8月11日～昭和9年8月10日)。
29	51	降雪により汽車不通のため伺えず詫状	(近代カ)12月31日		早苗西蔵	五十嵐	継紙	17.7×49.6	1		・早苗西蔵は11代高岡市長(在任期間昭和5年8月11日～昭和9年8月10日)。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出 (作成)	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
30	39	伏木藤井陳三氏訪問不在につき早川千吉郎氏の書面を得、明日再訪問予定書	(近代カ)14日		金部	五十嵐先生、 □□□先生	罫紙	23.4×33.0	1		・藤井陳三は藤井能三の次男。明治16(1883)年生まれ。没年不詳。伏木図書館初代館長。 ・早川千吉郎は文久3(1863)～大正11(1922)年の官僚、実業家。三井銀行専務理事、常務をつとめる。大正10年満鉄社長に就任。
31	18	国元より御送り申し書類の外それらしきもの見当たらず母の元へ申し送り尋ね見当たり次第送るにつき書簡	(近代カ)17日		於市川 岡田 武徳	伯父上	継紙	18.0×58.3	1		
32	28	亡父逝去に際し礼状	(近代カ)				継紙	17.5×94.2	1		病名は胃癌、4月13日逝去。後欠。
33	9	五十嵐篤好祭神推薦希望書(案)	(近代～)		(大日本歌道 奨励会会員 越中国富山 市前田則邦、 同 同国新川 郡泊り(ママ)町 柚木久義、射 水郡伏木町 藤井能三)		罫紙 綴	23.8×17.2	1	4 丁	別紙添付:五十嵐篤好略伝(越中史略板書)、著作書名、詠歌 ・前田則邦(1847～1915年)は富山藩の9代藩主前田利幹の孫。初代富山市長。 ・藤井能三(1846～1913)は築港や教育など伏木の近代化に尽くした実業家。
34	45	五十嵐篤好伝目次	(近代～)		五十嵐政雄		洋紙 綴	23.2×16.4	1	8 頁	・政雄(1850～1934)は五十嵐家11代。篤好3男。石川・富山県議。
35	5	七本杉製短冊掛け由来書依頼状	(昭和2年～)6月 27日	1927～		五十嵐老人	継紙	18.0×64.3	1		端書:異筆「辻高邸」 ・昭和2(1927)年11月18日に7本杉伐採。
36	63	五十嵐篤好従五位叙位状、位記贈状	昭和3年11月10日	1928	宮内省	故五十嵐篤好	縦紙	各22.7× 31.0	2		【63-1】贈従五位:宮内大臣従二位勲一等一木喜徳郎→故五十嵐篤好 【63-2】位記贈状:宮内省→故五十嵐篤好 木箱:26.8×14.8×3.3(蓋表貼紙墨書「篤好贈位位記等」) 包紙:39.4×24.2(墨書「篤好御贈位位記 昭和3年11月10日伝 □同4年2月11日」)

通番	版No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
37	16	追贈者合同慰霊祭写真	昭和4年9月15日	1929			写真	写真：10.6×15.2 台紙18.4×23.2 見開全体：20.2×50.0	1		
38	70	贈従五位五十嵐篤好翁頌徳碑除幕	昭和6年11月22日	1931			罫紙綴	24.7×19.2	1	38	頌徳碑1/20縮図1枚：40.2×32.8 篤好の頌徳碑除幕式典の記録。 佐々木信綱の題字書幅写真、碑完成の新聞記事あり。
39	72	『贈従五位五十嵐篤好翁事歴』	昭和29年12月	1954	高岡市立東五位小学校		洋紙綴	24.5×17.7	1	19頁	
40	8	五十嵐篤好翁頌徳奉賛会結成に関する趣意書	昭和52年7月	1977	五十嵐篤好翁頌徳奉賛会世話人武島精逸等5人		洋紙綴	26.0×18.3	1	2丁	
41	23	東五位のいしぶみ	昭和62年3月30日	1987	著者兼発行者竹守澄江		図書	15.4×17.7	1		36・25頁、謹呈札2枚あり。
42	14	五十嵐の奔流小文治の末裔	平成11年5月	1999	著者兼発行人丸山数政		図書	21.6×15.7	1		361頁、正誤表1枚あり。
43	27	五十嵐篤好翁事歴、五十嵐篤好さんの功績（複写）	平成18年8月	2006	【27-1】五十嵐篤好翁事歴：五十嵐篤好翁頌徳奉賛会、現代語訳・世話人東五位校下連合自治会 【27-2】五十嵐篤好さんの功績：高岡信用金庫理事長在田利男、世話役東五位校下連合自治会役員一同		洋紙	【27-1】21.0×29.5 【27-2】30.0×41.7	2		
44	17	五十嵐氏歴代（複写）	（現代）				洋紙綴	25.8×18.2	1	21丁	